

## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年4月24日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009  
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	86,669	△0.5	14,465	△19.8	14,836	△10.5	10,489	23.2
24年12月期第1四半期	87,111	△24.2	18,039	△17.7	16,575	△25.5	8,514	△42.4

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 16,802百万円 (12.0%) 24年12月期第1四半期 15,003百万円 (△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	19.16	19.15
24年12月期第1四半期	15.46	15.45

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	694,165	567,244	81.6
24年12月期	679,342	555,898	81.7

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 566,104百万円 24年12月期 554,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	10.00	-	10.00	20.00
25年12月期	-	-	-	-	-
25年12月期 (予想)	-	12.50	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	169,000	1.6	29,000	13.3	-	-	-	-	-
通期	338,000	1.5	55,000	4.0	49,000	△0.0	30,000	24.0	54.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、経常利益及び当期純利益については通期のみで連結業績予想を算出していることから、第2四半期 (累計) については、売上高・営業利益の予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期 1 Q	576,483,555株	24年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	25年12月期 1 Q	29,061,291株	24年12月期	29,062,630株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期 1 Q	547,417,916株	24年12月期 1 Q	550,721,704株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から3月31日までの3か月間）の売上高は866億円（前年同期比0.5%減）、営業利益は144億円（同19.8%減）、経常利益は148億円（同10.5%減）、四半期純利益は104億円（同23.2%増）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、医薬事業における主力品は堅調に推移しましたが、技術収入の減少により減収減益となりました。
- ◎ 経常利益も減益となりましたが、四半期純利益は関係会社株式売却益等の特別利益の計上により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（注）当第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。（詳細は、添付資料8ページ「(5) セグメント情報等」をご覧ください。）

## 医薬事業

## ① 業績

医薬事業の売上高は、674億円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益は130億円（同22.0%減）となりました。

- ◎ 国内の医療用医薬品は、昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響がありましたが、主力品が順調に推移しました。
  - ・抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」は花粉飛散量が多かったこともあり好調に推移しました。一方、腎性貧血治療剤「ネस्प」は売上高が前年同期を下回りました。
  - ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」、経皮吸収型持続性がん性疼痛治療剤「フェントス」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「ロミプレート」等は順調に伸ばしました。
  - ・3月に大塚製薬(株)が製造販売承認を取得した2型糖尿病治療剤「オングリザ」の同社からの承継手続きを進めております。
- ◎ 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したものの、協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)からのバイオシミラー開発に係る技術収入などを計上した前年同期に比べて、売上高は大幅に減少しました。
- ◎ ProStrakan社は、がん性疼痛治療剤「Abstral」等の主力製品が順調に伸ばし、売上高は50億円（前年同期比41.6%増）、営業損失（のれん等償却後）は2億円（同75.2%減）となりました。

## ② 研究開発

## がん領域

（国内）

- ・抗悪性腫瘍剤「ロイナーゼ」の筋肉内投与に係る用法・用量追加の承認を2月に取得しました。
- ・抗悪性腫瘍剤「ダカルバジン」の褐色細胞腫の効能・効果追加の承認を3月に取得しました。
- ・がん性疼痛治療剤KW-2246（海外製品名「Abstral」）の承認を申請中です（平成24年11月申請）。

## 腎領域

（国内）

- ・腎性貧血治療剤「ネस्प」の小児適応追加の承認を申請中です（平成24年9月申請）。

（海外）

- ・中国を含むアジア各国において二次性副甲状腺機能亢進症治療剤Cinacalcet Hydrochloride（日本製品名「レグパラ」）の承認を申請中です（中国では平成23年10月申請）。

## 免疫・アレルギー領域

（国内）

- ・尋常性乾癬を対象としたKHK4827の第Ⅲ相臨床試験を3月に開始しました。

## 中枢神経系領域

（国内）

- ・血栓溶解剤「アクチバシン」の虚血性脳血管障害に対する治療可能時間を発症後3時間以内から発症後4.5時間以内へ延長する一部変更の承認を2月に取得しました。
- ・パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」の承認を3月に取得しました。
- ・抗てんかん剤「トピナ」の小児適応追加と新剤型（細粒剤）追加の2点について、承認を申請中です（平成24年12月申請）。

## その他領域

（国内）

- ・合成ペニシリン製剤「パセトシン」のヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法（プロトンポンプ阻害薬、クラリスロマイシン又はメトロニダゾールとの3剤併用）に係る適応追加の承認を2月に取得しました。

## バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、199億円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は14億円（同13.6%増）となりました。

（国内）

- ◎ 医薬・医療領域の売上高は前年同期を下回りました。
  - ・医薬・医療領域では、医薬用アミノ酸や核酸関連物質、その他の医薬品原薬等が堅調に推移しました。
  - ・トラネキサム酸は、出荷が集中した前年同期に比べて、売上高が下回りました。
- ◎ ヘルスケア領域の売上高は、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は前年同期並みでしたが、飲料・食品用原料は前年同期を下回りました。

（海外）

- ◎ 海外事業の売上高は、為替の円安進行もあり前年同期を上回りました。
  - ・米国では、サプリメント向けのアミノ酸等顧客の需要動向や競争激化のため、やや軟調に推移しました。
  - ・欧州・アジアでは、輸液用アミノ酸や医薬品原薬であるシチコリンなど医薬品原薬・原料向けのアミノ酸・核酸関連物質の需要が引続き旺盛でした。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ148億円増加し、6,941億円となりました。
  - ・流動資産は、受取手形及び売掛金や棚卸資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ60億円増加し、3,100億円となりました。
  - ・固定資産は、有形固定資産や販売権等の増加により、前連結会計年度末に比べ87億円増加し、3,840億円となりました。
- ◎ 負債は、未払法人税等の減少がありましたが、支払手形及び買掛金や賞与引当金等の増加により、前連結会計年度末に比べ34億円増加し、1,269億円となりました。
- ◎ 純資産は、四半期純利益の計上に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ113億円増加し、5,672億円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下し、81.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月31日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,577	23,257
受取手形及び売掛金	101,556	103,518
商品及び製品	40,334	44,615
仕掛品	12,176	13,371
原材料及び貯蔵品	10,931	10,788
繰延税金資産	10,369	10,690
短期貸付金	98,194	97,323
その他	9,228	6,924
貸倒引当金	△381	△423
流動資産合計	303,988	310,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,875	129,498
減価償却累計額	△94,114	△88,929
建物及び構築物(純額)	40,760	40,569
機械装置及び運搬具	143,595	145,897
減価償却累計額	△124,200	△126,799
機械装置及び運搬具(純額)	19,395	19,098
土地	53,386	55,223
建設仮勘定	7,360	8,739
その他	48,166	46,773
減価償却累計額	△42,196	△40,732
その他(純額)	5,969	6,040
有形固定資産合計	126,872	129,671
無形固定資産		
のれん	168,850	166,700
販売権	36,214	45,529
その他	2,442	2,284
無形固定資産合計	207,506	214,515
投資その他の資産		
投資有価証券	23,654	22,912
繰延税金資産	7,724	6,735
その他	9,871	10,525
貸倒引当金	△276	△260
投資その他の資産合計	40,974	39,912
固定資産合計	375,353	384,099
資産合計	679,342	694,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,303	30,533
短期借入金	5,699	5,761
未払金	29,009	32,529
未払法人税等	15,777	8,051
売上割戻引当金	771	832
ポイント引当金	187	208
賞与引当金	241	4,142
その他	7,784	7,897
流動負債合計	85,774	89,957
固定負債		
繰延税金負債	11,262	11,326
退職給付引当金	19,503	19,102
役員退職慰労引当金	114	110
環境対策引当金	331	328
資産除去債務	383	383
その他	6,074	5,711
固定負債合計	37,668	36,963
負債合計	123,443	126,920
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,329	512,329
利益剰余金	48,127	53,142
自己株式	△26,538	△26,537
株主資本合計	560,663	565,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,264	△23
為替換算調整勘定	△3,528	449
その他の包括利益累計額合計	△5,792	425
新株予約権	203	221
少数株主持分	823	918
純資産合計	555,898	567,244
負債純資産合計	679,342	694,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	87,111	86,669
売上原価	32,094	34,309
売上総利益	55,016	52,360
販売費及び一般管理費		
研究開発費	11,022	10,629
のれん償却額	3,076	2,858
その他	22,878	24,406
販売費及び一般管理費合計	36,976	37,895
営業利益	18,039	14,465
営業外収益		
受取利息	142	180
受取配当金	318	65
為替差益	926	222
デリバティブ評価益	—	396
その他	273	180
営業外収益合計	1,660	1,043
営業外費用		
支払利息	32	64
デリバティブ評価損	292	—
持分法による投資損失	2,465	301
固定資産処分損	115	86
その他	218	219
営業外費用合計	3,125	672
経常利益	16,575	14,836
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,758
投資有価証券売却益	—	660
固定資産売却益	—	400
特別利益合計	—	3,819
特別損失		
投資有価証券売却損	324	—
特別損失合計	324	—
税金等調整前四半期純利益	16,250	18,656
法人税等	7,719	8,158
少数株主損益調整前四半期純利益	8,531	10,498
少数株主利益	16	8
四半期純利益	8,514	10,489

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,531	10,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,193	2,240
為替換算調整勘定	5,279	4,064
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	6,471	6,304
四半期包括利益	15,003	16,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,924	16,707
少数株主に係る四半期包括利益	78	94

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

「II 当第1四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,070	19,599	86,669	—	86,669
セグメント間の内部売上高	352	398	750	△750	—
計	67,422	19,997	87,420	△750	86,669
セグメント利益	13,061	1,480	14,541	△76	14,465

注1. セグメント利益の調整額△76百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの関係会社管理区分を見直したことに伴い、従来「その他」セグメントに含まれていた関係会社を「医薬」セグメントに組み替え、「その他」セグメントを廃止しております。

なお、当該変更を反映した前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	66,932	20,178	87,111	—	87,111
セグメント間の内部売上高	287	410	697	△697	—
計	67,220	20,589	87,809	△697	87,111
セグメント利益	16,735	1,303	18,039	0	18,039

注1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。